



きずな 絆つなげる綱引き大会

2 / 3 堀金綱引選手権大会

平成元年から毎年行われている堀金綱引選手権大会が2月3日、堀金総合体育館で行われました。この日は、堀金地域のスポーツ少年団など約500人が参加。一般的な綱引きのほか、ロープバランスくずし、三方引き綱引きの3種目が行われました。参加者は、家族などが大声援を送る中、こん身の力を振り絞り、熱戦を繰り広げました。主催した堀金地域体育協会の平倉重則会長は「20年続けられてきたことに地域のきずなを感じます」とこれまでの歴史を振り返っていました。



豊科南小から3作品が入賞

2 / 4 下水道新聞コンクール2007

下水道新聞コンクール実行委員会(長野県・長野県下水道公社など主催)が毎年実施しているこのコンクールで、豊科南小学校から3作品が入賞しました。県内の小学校から251作品の応募があり、豊科南小から応募したすべての作品が努力賞以上の23作品に選ばれるという快挙となりました。この日は県の担当職員が学校を訪れ、新聞を作った4年4組の3グループ9人へ、それぞれ賞状と記念品を手渡しました。児童たちは、笑顔で受けとり、入賞の喜びをあらたにしていました。

伝統を豪快に受け継ぐ

1 / 14 福俵曳き

豊科の成相区および新田区で1月14日、正月の伝統行事「福俵曳き」が行われました。両区ともに30人ほどの若衆が参加し、威勢よく福俵を引き回しました。この福俵曳きは道祖神祭りの一環として行われるもので、道祖神の神が宿った「福俵」を引き回すことで、地域の家々にも福が分け与えられるとされています。区内を回った福俵は、昨年慶事のあった家庭や会社などに納められます。

ここ数年は、担い手の不足も心配され、この日も他地区から助っ人として参加した若衆もいました。新田区の親方を務めた萩原元さんは「地元でつながってきた伝統を、しっかり受け継いでいきたい」と話していました。

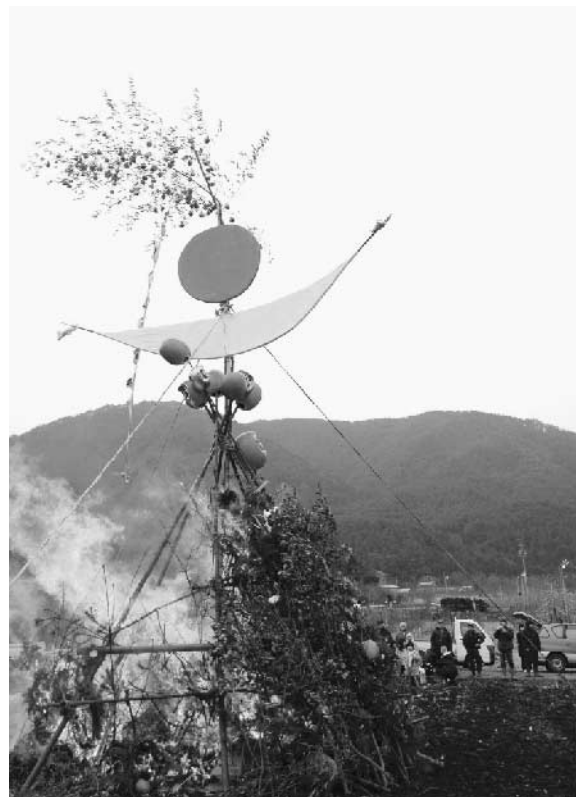


1年の無事を祈って

1 / 7 三郷北小倉三九郎

「御柱寝せ出てくれやい！」1月7日早朝、地区に響く子どもたちの掛け声を合図に集まった人たちの手で、道祖神の脇に元日の朝立てられた御柱が倒されました。御柱に取り付けられていたオンベは、魔よけとして地区に配られ、玄関先などに飾られます。また、残った御柱の飾りは、この日の午後に子どもたちと当番の世話人さんが、各家々を回って集めた松飾りなどと一緒に燃やされ、皆で1年の健康を祈りました。

この御柱と三九郎の一連の行事は北小倉の3地区で行われています。子どもの数が少なくなっていますが、各地区ではそれぞれに工夫して、この伝統行事を守っています。



豊科北小PTA全国表彰

1 / 18 平成19年度文部科学大臣全国表彰 受賞

豊科北小学校PTAの皆さんが1月18日、平林市長に平成19年度文部科学大臣表彰の受賞を報告しました。

豊科北小PTAには、父親が中心となって活動する「北小サポート隊」があり、平成13年からは、豊科地域の小・中学生を対象にしたサマーキャンプやものづくり講座、バザーなどを行っています。中でもサマーキャンプは、校庭に重機を持ち込み、即席の露天風呂を作りをするなど、人気行事として行われています。伊皆徹PTA会長は「学校の理解のお陰で、さまざまな活動ができています。まず、親自身が楽しむことが子どもたちを楽しませるコツです」と話しました。



安曇野への思いを凝縮

1 / 18 安曇野に寄せる心の詩(うた)楽譜集 寄贈

早春賦愛唱会と新作愛唱歌制作委員会は1月18日、「安曇野に寄せる心の詩」楽譜集100冊を市内の保育園・小中学校・高校で使用してほしいと市に寄贈しました。

寄贈された楽譜集には、早春賦に続く新しい愛唱歌を安曇野から発信しようと開催した作詞コンテストで入賞した7曲が収録されています。新作愛唱歌制作委員長の三原寿雄さんは「詩に曲がつき、多くの人に歌われるほど楽譜がほしいという要望が増えてきた。この楽譜集にいろいろな人の安曇野に寄せる思いを凝縮できた」と話しました。